

◎令和5年度予算のお知らせ

前年度に引き続き経常赤字予算 みなさんの健保組合へのご協力が不可欠です

当健保組合の令和5年度予算がまとまりましたので、概要をお知らせいたします。

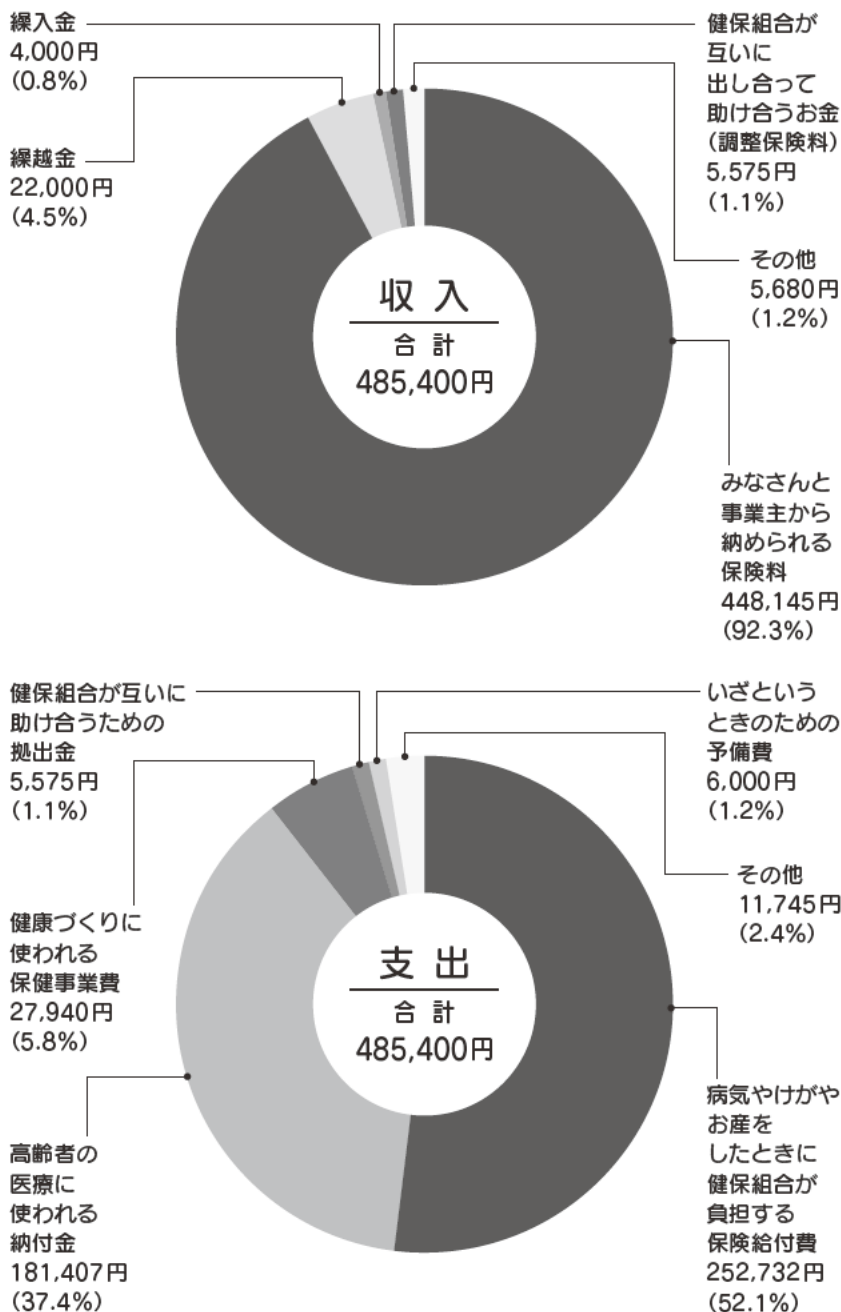
止まらぬ少子高齢化 健保組合への影響も大きく

厚労省は2月末に人口動態統計速報を公表し、2022年の出生数が80万人を下回り過去最少となることを明らかにしました。80万人を下回るのは統計開始以来初めてであり、国は80万人割れを2033年と推計していましたが、11年も早く少子化が進んだこととなります。

一方で、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となる「2025年問題」は目前に迫っており、増え続ける高齢者医療費により、健保組合が負担している高齢者医療制度への納付金も増加の一途を辿っています。

健保組合にとっても先行き不安な財政状況がつづくなか、当健保組合の令和5年度予算がまとまりました。予算総額24億2700万円、経

◆被保険者1人当たりでみた主な収支(健康保険)◆



※端数処理の関係で一部合計の合わない場合があります。

◆ 令和5年度 収入支出予算概要 ◆

《健康保険》

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさんと事業主から納められる保険料	2,240,725
健保組合が互いに出し合って助け合うお金 (調整保険料)	27,874
繰 越 金	110,000
繰 入 金	20,001
そ の 他	28,400
合 計	2,427,000

■支出

科 目	予算額(千円)
病気やけがやお産をしたときに 健保組合が負担する保険給付費	1,263,660
高齢者の医療に使われる納付金	907,037
健康づくりに使われる保健事業費	139,700
健保組合が互いに助け合うための拠出金	27,874
そ の 他	58,729
いざというときのための予備費	30,000
合 計	2,427,000

《介護保険》

■収入

科 目	予算額(千円)
みなさん*と事業主から 納められる介護保険料	223,679
繰 越 金	7,000
雑 収 入 等	21
合 計	230,700

■支出

科 目	予算額(千円)
国に納める介護納付金	228,358
介護保険料還付金・積立金	242
予 備 費	2,100
合 計	230,700

※介護保険第2号被保険者たる被保険者等

常務理事交代のお知らせ

令和5年2月17日付けで、常務理事の交代がありましたのでお知らせいたします。

就任 三鼓 秀夫

退任 佐々木一夫

(敬称略)

厳しい状況が好転する兆しは見られず、健保組合の事業を運営していくためには、みなさんのご協力が不可欠です。年に一度の健診受診の徹底、ジェネリック医薬品への切り替えなどで、ご自身とご家族の健康づくりと医療費の節減にご協力くださいますようお願いいたします。

健保組合は、介護保険第2号被保険者(40歳以上65歳未満の方)に納めていただいた介護保険料を介護納付金として国に納めています。今年度は、介護保険料率を前年度の千分の17・2から千分の16・2に引き下げて予算を編成いたしました。収入総額は2億3070万円となり、このうち2億2836万円を国に納付いたします。

《介護保険予算》

健保組合は、介護保険第2号被保険者(40歳以上65歳未満の方)に納めていただいた介護保険料は前年度より約3360万円減の2億4073万円にて予算を編成いたしました。

支出面では、みなさんが病気やけがをした際の医療費などにあてられる

《健康保険予算》

常収入22億4602万円、經常支出23億6811万円となり、差引1億2209万円の赤字を見込んでいます。

健康保険料率を前年度と同じ千分の100とし、みなさんと事業主から納めていただく保険料は前年度より約3360万円減の2億4073万円にて予算を編成いたしました。

支出面では、みなさんが病気やけがをした際の医療費などにあてられる

保険給付費に同比約310万円減の12億6366万円、高齢者医療への納付金に同比約2億9730万円減の9億704万円をそれぞれ見込んでいます。納付金の減少は一時的なものであり、2025年(令和7年)にかけて団塊の世代が75歳以上の後期高齢者へと移行し続けることから、今後増加に転じることは確実です。

このほか、みなさんとご家族の健康づくりにあてるための保健事業費は、同比630万円減の1億3970万円を計上しています。今年度も、みなさん

に身体を動かしていただくきっかけづくりとなるよう、ウォーキングプログラムや野球大会の実施、病気の予防のための各種健診の費用補助などを積極的に行ってまいります。今年度実施予定の事業については、4ページをご確認ください。

以上の結果、保険料による収入だけでは支出を十分にまかなえないことから、繰越金1億1000万円、別途積立金より2000万円を繰り入れて、収支のバランスをはかってまいります。